

科目名	基本工作論			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	整形靴科1年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
<p>一足の靴を製作するには様々な機械を使用する。</p> <p>また、そのような機械は非常に危険なものであるため安全上の注意が不可欠である。基本工作論では、靴製作に必要な機械の使用に慣れると共に、安全に注意して作業を行なえるようする。</p>								
〔授業全体の内容の概要〕								
<p>底付け・製甲それぞれの実習の導入となる基礎的な製作を行っていく。教員が製作のデモを行い、デモに沿って学生が製作、できたものを評価する形式で行う。</p>								
〔講師の実務経験〕								
<p>ザニテツハウスPOSCに勤務、主にオーダー靴製作を担当し、足のカウンセリング・計測から既製靴のシューフィッティング、健康靴・インソールの調整・加工、オーダーメイドインソール製作、靴修理業務にも従事。靴製作関連業務を行う会社(株)HOS起業。2014年4月～整形靴科の当該科目非常勤講師。特に靴のデザイン、製甲の知識・技術に精通している。</p>								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
<p>①基本的な機械(グラインダー・オープン・圧着機・ミシン)の使用方法を学ぶ。</p> <p>②グラインダーで材料を決まった形に切削する、接着するといった製作の基本工程ができるようになる。</p> <p>③パターンデザインの線の用法を理解し、基本構造線が書けるようになる。</p>								
回数	講義内容							
1	底付け：底付け関係実習ガイダンス・グラインダーで物を削る練習							
2	底付け：ブロックヒール製作(パターン製作)							
3	底付け：ブロックヒール製作(ブロックヒール削りだし)							
4	底付け：ブロックヒール製作(ブロックヒール削りだし)							
5	製甲室使用についてのガイダンス・パターンデザイン・製甲についての導入							
6	パターンデザイン「線の用法」							
7	パターンデザイン「線の用法」							
8	パターンデザイン「線の用法」・革すき・ミシンで物を縫う練習							
9	底付け：ブロックヒール製作(ブロックヒール削りだし・接着)							
10	底付け：ブロックヒール製作(接着・仕上げ・評価)							
11	底付け：トーマスヒール製作(パターン製作)							
12	底付け：トーマスヒール製作(トーマスヒールの削りだし)							
13	パターンデザイン「基本構造線」							
14	パターンデザイン「基本構造線」							
15	パターンデザイン「基本構造線」・革すき・ミシンで物を縫う練習							
	定期筆記試験							

## 【 準備学習・時間外学習 】

--

## 【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
整形靴の基礎知識		JESC

## 【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

毎回の製作課題での評価
-------------